

成功事例から学ぶ「中小製造業のDXの進め方」

金属プレス加工のデジタルトランスフォーメーション (DX) ・第4弾

主催 一般財団法人 素形材センター
一般社団法人日本金属プレス工業協会

製造業におけるたゆまぬ「改善活動」が、これまでの我が国製造業発展の原動力となってきたのは言うまでもないことです。しかし近年、インダストリー4.0に端を発した第4次産業革命が襲来、製造業を取り巻く環境は激変する状況にあります。この状況を乗り越えて持続的成長を維持するには、これまでの「改善活動」に「デジタル技術」を結合させて新たな価値を創出、「稼ぐ力」を強化することが何よりも重要となります。デジタル技術を活用して「稼ぐ力のある製造業」へと変革すること、これこそがDXの本質です。

さて、そのDXの推進状況ですが、中小製造業は大企業に比べて出遅れていると評されています。その一方で、数は少ないもののすでに一定の成果を挙げ、「稼ぐ力」を大きく伸ばしている中小企業も存在します。この成功事例を参考にすれば、中小製造業の目指すべきDXの方向性が見えてくるとともに、それがトリガーとなって「新たな価値創出のヒント」が生まれることにも期待できます。本セミナーでは、DXを推進してすでに結果を出している中小製造業6社の成功事例を紹介します。多数のご参加をお待ちしています。

●日時 令和8年2月25日(水)13:00~17:10
オンラインセミナー (Microsoft Teamsを使用)

●プログラム コーディネーター 元湘南工科大学 教授 片岡 征二

1. 中小製造業がDXに成功するための道筋とは? ----- 13:00~13:30
激変する世の中、中小製造業が「稼ぐ力」を維持し続けるには業務プロセスの「高効率化」・「高度化」への変革が必須である。そこでは爆発的に進化するデジタル技術をJust Fitで取り込むことが最重要課題となるが、その過程で創出されたソリューション製品はビジネスモデルの新たな変革をももたらす。この流れはDX成功事例から見えてくる。

元湘南工科大学 教授 片岡 征二

2. 生産管理・品質管理・金型メンテナンス 3つの統合システム構築による生産性及び品質向上 ----- 13:30~14:00

全プレス機にセンサーとPCを設置し、工場内LANを構築して稼働データを把握、その情報を工場・本社間でリアルタイムに共有することで生産性を向上させる「生産性向上支援システム」を、また金型メンテナンスの時期、箇所、内容を予測、金型メンテナンスタイミングを最適化する「金型メンテナンスシステム」を構築(何れも特許取得)した。その内容と効果について紹介する。

株式会社JKB 代表取締役 平井 麻紀子

3. 日進精機DXのこれまでとこれからの戦略 ----- 14:00~14:30

弊社では数年前よりDX推進室を設けDX推進を進めている。本講演では、ステップ毎の進捗状況や成果、さらに今後の戦略について具体的に報告する。加えて、これまでのDX推進活動や各種セミナーを通じて得た経験や課題を振り返り、企業ごとに歩むべき道とは何かについて、私自身の考えも交えて提案する。DXの本質と持続的成長を共に考える場とする。

日進精機株式会社 品質保証部 課長 澤柳 一輝

4. 内製によるストレスフリーのローコスト DX 推進 ----- 14:30~15:00
製造業が国際競争力の低下や人手不足といった課題に直面している中、当社は「内製化」にこだわり、ストレスフリーかつローコスト DX による生産性向上に取り組んだ。中小・零細企業が抱える人材・資金不足という課題を乗り越え、生産管理システム、ロボットによるバラ積みピッキングシステム、異常検出技術 (Patch Core)、AGV 等を開発。これらデジタル技術を活用した品質向上と省力化への取り組みについて紹介する。

株式会社山口製作所 代表取締役社長 山口 貴史

総合討論 ----- 15:00~15:15

株式会社 JKB 代表取締役 平井 麻紀子

日進精機株式会社 品質保証部 課長 澤柳 一輝

株式会社山口製作所 代表取締役社長 山口 貴史

5. デジタル技術活用による機械加工の未来とエンジニアの役割 ----- 15:25~15:55

「機械加工にイノベーションを起こす」を企業スローガンとする当社では、ものづくりプロセスにおけるデータセンシング技術、高度なライン設計力を核とし、デジタルデータとエンジニアの技術力の融合により現代の製造現場が抱える課題解決にアプローチしている。

本講演では、機械加工時の熱や振動などの物理データモニタリングと加工高度化、ロボットを活用した無人・省人化、AM 技術による製造拡張を軸に、機械加工の未来に向けた取り組みを紹介する。

株式会社山本金属製作所 岡山研究開発センター 研究開発グループ 主任 真所 最

6. 現場改善から生まれた DX 新規事業~DX 推進のノウハウを地域企業へ~ ----- 15:55~16:25

当社は金型製造業として現場改善を積み重ね、業務プロセス最適化と内製による DX 推進により生産性向上を実現してきた。こうした実践的ノウハウと現場密着型の開発力を基に、製造業向けの DX 支援・システム受託開発を新たな価値として創出・事業化した。本講演では「現場起点の改善力」を強みに、DX によって新たな収益モデルを創出した事例をご紹介します。

株式会社カワイ精工 専務取締役 川合 忠実

7. 産学官金『チーム新潟』地域と進めるゼロから始めた DX~成功例と苦労話~ -- 16:25~16:55

産学官金との連携により、地域のものづくり企業が自走できる「地産地消の DX」と現場起点の改善活動・技術継承を推進している。自社工場での改善事例共有や意見交換を通じ、地域全体の生産性向上を支援。本講演では、地域連携モデルの実践と基本に忠実な DX 事例、X の変革の部分の成功・苦労話を紹介する。

J マテ. カッパープロダクツ株式会社 経営企画室 副部長、DX 推進リーダー 西本 俊介

総合討論 ----- 16:55~17:10

株式会社山本金属製作所 岡山研究開発センター 研究開発グループ 主任 真所 最

株式会社カワイ精工 専務取締役 川合 忠実

J マテ. カッパープロダクツ株式会社 経営企画室 副部長、DX 推進リーダー 西本 俊介

* 状況によっては、プログラムの変更、開催を中止させていただく場合がございますので、ご了承ください。

【協賛団体】 一般社団法人東京都金属プレス工業会

【問合せ先】 一般財団法人素形材センター 企画部

E-mail kensyu@sokeizai.or.jp 電話 03(3434)3907

●参加要領

◇定員 80名 (申込順に受け付け、定員になり次第締め切ります)

◇参加費 会員価格：6,600円(消費税込み)、一般価格：13,200円(消費税込み)

素形材センター特別賛助会員・一般賛助会員、日本金属プレス工業協会、東京都金属プレス工業会会員は会員価格となります。

素形材センター協賛会員の方へ：協賛会員の特典にセミナー・研修の割引はありません。ご理解をお願いいたします。

開催前日まで参加取消のご連絡がなく、当日欠席されても参加費はお返しいたしません。

◇申込方法

素形材センターホームページからお申込み下さい。

申込：<https://www.sokezai.or.jp/pages/110/>

一般財団法人 素形材センター 企画部

E-mail kensyu@sokezai.or.jp 電話 03(3434)3907



◇参加費のお支払い

参加申込後、請求書をメール送信いたします。

(領収書を必要とする場合は、申込書にその旨をご記入下さい。振込手数料はご負担願います。)

◇申込締切 令和8年2月16日(月)

◇注意事項

・Microsoft Teams を使用したオンラインセミナーです。セミナー参加のために、パソコンやタブレットなどの端末と、インターネット環境、メールアドレスが必要です。また、通信費は参加者負担になります。

・カメラ、マイク、スピーカーを備えたパソコンでの参加を推奨しています。

・セミナーの録音・録画等や、本セミナーのコンテンツ(セミナー参加の URL、パスワード等)を外部に流出させる行為は、固くお断りいたします。

・1名様につき1つのお申し込みとしてください。1社で複数名様をご参加の場合、それぞれお申込みください。

・映像や音声がかかる場合がございます。ご了承ください。

・参加者ご自身の機材に関するトラブル等のお問合せには、事務局は対応いたしかねます。

※その他注意事項につきましては、参加申し込み後にお送りするメールに記載させていただきます。

個人情報保護法に関する対応

ご記入頂いた個人情報は、本セミナーの事務に利用するとともに、参加者リストを作成し、講師に手交します。また、素形材センターの行う各種研修、セミナー、出版物、事業の案内状の送付に利用する予定です。今後、素形材センターが行う素形材産業の実情に関する調査アンケートへの協力依頼を行う場合もあります。